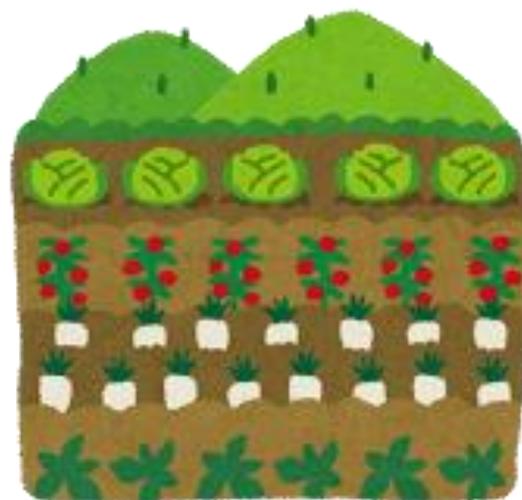


NPO法人東海地域生物系先端技術研究会

平成29年度第1回セミナー

地域農業の将来を考える視点



平成29年6月22日

愛知県農業振興基金理事長 可知 祐一郎

論点整理

- ◎ **農地利用の最適化**
農政1丁目1番地の「農地中間管理事業」
- ◎ **担い手の確保・育成**
生産構造分析のすすめ
- **農業経営（生産・販売の強化）**
- ◎ **魅力ある地域づくり**
農山村地域の「悩み」をまとめて解決
「あいち型集落営農方式」を展開しよう！
- **農業が持つ社会的価値**
誇らしいから人が来る（新規参入）

1 農地利用の最適化

- ・農政1丁目1番地の「農地中間管理事業」

農地中間管理事業の仕組み

貸出希望者
(出し手)

農地中間管理権の取得



借受

愛知県農業振興基金
(農地中間管理機構)

借受希望者
(受け手)

貸付



事業対象農地
農業振興地域内の農地

借受期間: 10年間を基本
共有名義等は5年間も可能

地域における話し合いが重要
人・農地プランの見直し



連携

協力

市町村

J A

出発点は
借受希望者の募集への応募

応募者リスト公表

貸付先決定ルールに基づき貸付
規模拡大又は分散錯圃の解消

農地中間管理事業のメリット

地域に対する支援

地域集積協力金

個々の出し手に対する支援

経営転換協力金

耕作者集積協力金

受け手のメリット

長期間安心して耕作できる

分散錯圃解消による効率化

土地利用現況図

利用権＋特定作業受委託

集積率=40.2%

〔耕作者凡例〕

- A経営体
- B経営体
- C経営体

目指すべき将来の姿

集積率=82.7%

東黒田

〔配分者〕

- A経営体
- B経営体
- C経営体
- 自作地

農業体験農園の開設

出発点は
地域における話し合い

開設までの手順;
開設者・農園タイプ等を決める
利用者募集→決定→通知→説明会

主な施設

入口看板、水道、トイレ、
農具庫、休憩所、テーブル、
ベンチ、掲示板、堆肥置き場、
ゴミ捨て場



募集

利用

利用者
:
非農家
(都市住民)

開設者(農家)のメリット

安定した農業所得の確保

利用者との交流

農業の理解促進を醸成できる

評価が直接伝わる

開設者(農家)の留意点

指導のエネルギー必要

信念が必要

従来とは別の経営努力必要

利用者のメリット

農のある暮らし

農家による懇切な農業指導

農家、利用者との交流

農機具をそろえなくてもいい

農業の理解促進が進む

入園者の留意点

講習会・説明会への出席必要

好きな作物を自由に作付不可

農作業の制約

耕作放棄地解消の切り札はあるか？

話題になった作物

搾油用ナタネ

豊田市の法人が60ha規模の経営

ワイン用ぶどう

豊田市の新規参入者が1ha規模の経営

長野県では35ha解消の実績あり

れんげ

エゴマ

コケ 等

生産物をいかに付加価値販売していくかがポイント

2 担い手の確保・育成

- 生産構造分析のすすめ
- 農業労働力の確保

担い手の確保育成は最重要施策

昭和1ケタ世代が若い人でも80才を超え、このままでは生産力の大幅な低下が避けられない状況

→ **今こそ、将来を見据えた新たな取組が必要**

担い手の減少・高齢化、生産力の低下

定性的に把握、しかし、**定量的な把握はできず**

将来の生産力を客観的に予測する手法がなかった

→ 客観的な将来予測ができないまま、対応策を検討

→ **1割減少、3割減少、5割減少により対応策変わる**



将来の生産力を客観的に予測する手法必要！

生産構造分析を提唱

- ①各産地において、農家ごとの経営規模、経営主の年齢、後継者の有無、現在の出荷量などを把握
- ②産地関係者が集まり、各農家の5年後と10年後を客観的に判断して、規模拡大農家、現状維持農家、規模縮小農家、離農農家の4区分に分けて、農家ごとの5年後と10年後の出荷量を客観的に予測
- ③その出荷量を積み上げて、産地の将来の生産力を予測。文字どおり、産地の生産構造を分析

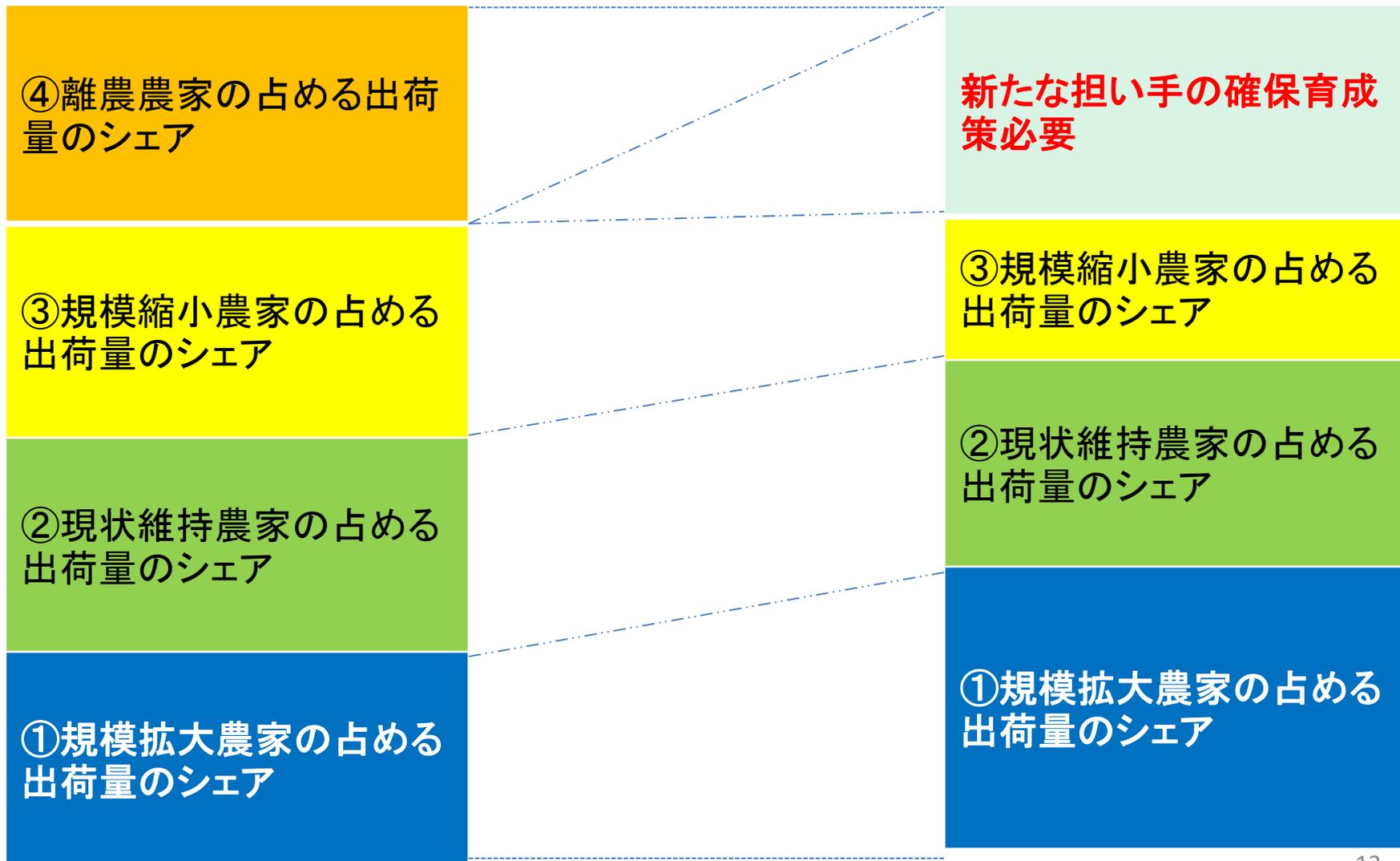


産地の5年後と10年後の大凡の生産力がわかる。客観的な将来予測を含めて現状を把握できるので、初めて、産地関係者が共通認識を持って対応策を検討することが可能になる

産地における生産構造分析のイメージ

現在の生産構造

5年後及び10年後の生産構造



あいち型「担い手の確保育成イメージ」確立を

① 農業労働力の確保

新規就農者の4割が新規参入者

農大卒業生、就農者の6割が法人へ就職

② 担い手の確保育成

法人が如何に新規参入者を取り込むか

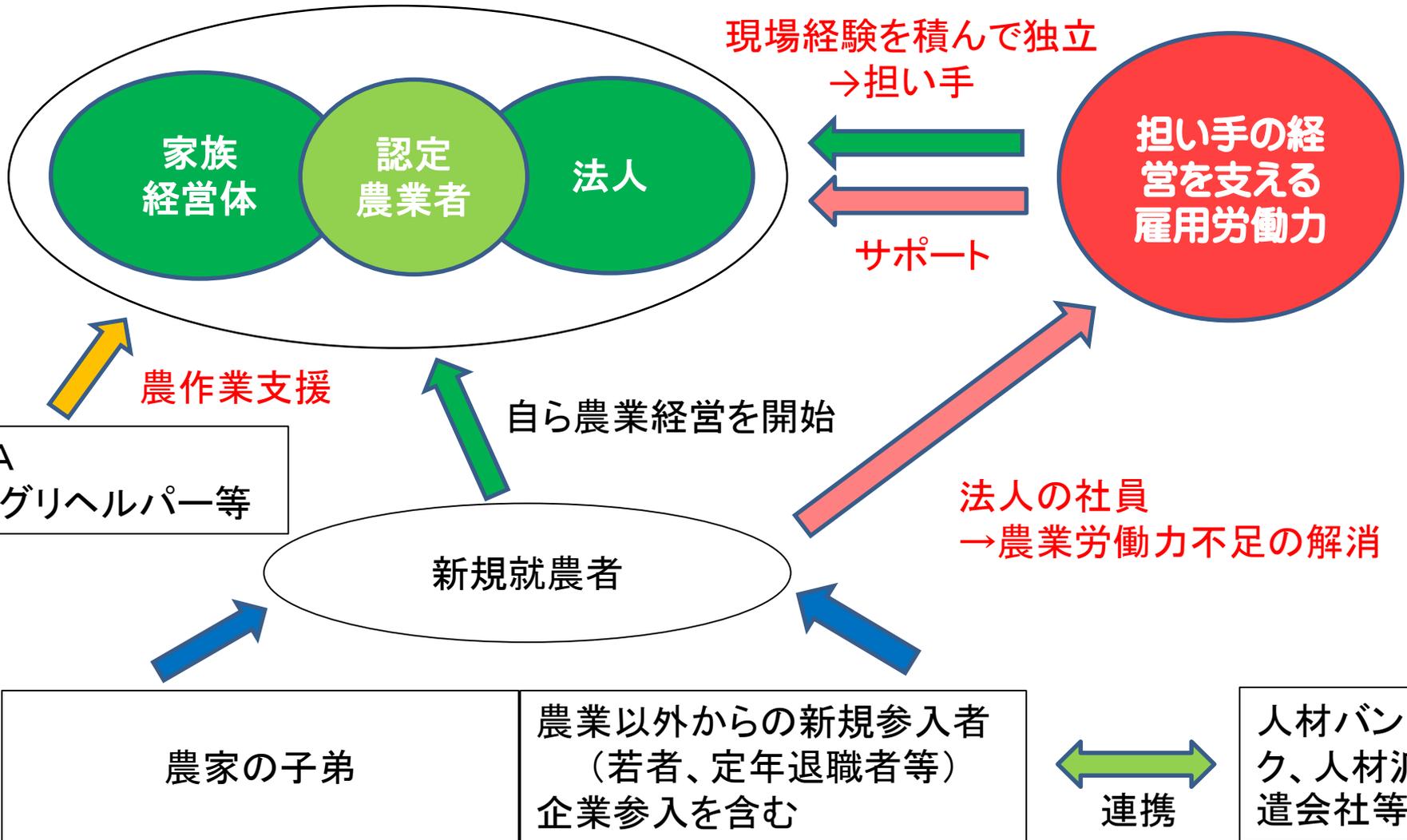
農業を志す者の受け皿となる法人が魅力ある
就職先であることが必須条件



法人経営者対象の研修制度の充実

あいち型「担い手の確保育成イメージ」

あいちの農業の担い手



3 農業経営

- 家族経営と法人経営（法人化のすすめ）
- 女性が活躍する経営は伸びる！
- ブランド化
希少価値 & 需給バランスの原則
- 6次産業化と農商工連携

家族経営と法人経営（法人化のすすめ）

法人化のメリット

- ◎後継者がいなくても経営を継承できる
- ◎対外的に信用力が高まる
- ◎優秀な人材を確保しやすくなる
- ◎経営の多角化、他産業との連携など経営発展の可能性が高まる
- 家計と経営の分離
- 農業所得が1,000万円を超える場合は節税効果

法人化の留意点

- ◎高い経営感覚
- ◎社会保険制度の導入で人件費が割高
- ◎労働基準法適用
- 事務処理や会計・税務処理が複雑化
- 定款の作成、登記などの手続きが必要

女性が活躍する経営は伸びる！

農業就業人口の48.1%

50～64歳では、男性を上回る

◎女性役員・管理職がいる経営は収益力が向上

◎営業・販売を担当＞6次化を担当

認定農業者も年々増加

◎地域農業の振興、農業経営の発展等に重要な役割

農村女性の起業活動への取組は横ばい状態

地域農業の活性化、魅力ある地域づくりに貢献

一層能力を発揮できるように、

次世代リーダーとなり得る人材の育成などを支援

◎女性農業者の一層の活躍推進を！

ブランド化

ブランドとは

(百科事典マイペディア)

商標、銘柄

通常、自社の商品・サービスと他社のそれとの差別化を図る目的で使用される

(マーケティング用語集)

消費者にとっては、自分に価値ある製品やサービスを識別させてくれるもの

ブランドにどれだけ強い価値を付加することができるかが重要



信用

他社製品との差別化

消費者に価値ある製品と認識してもらうこと

2つのキーワード

希少価値

少ないものには価値がある
少ないものほど価値が高い
得をしたかったら、人がやらないことをやる

需給バランスの原則

あらゆる取引で成立する価格は、
需要と供給のバランスで決まる
多数者は常に損をする
得をしたかったら、少数派になる

6次産業化と農商工連携

	6次産業化	農商工連携
概要	農業者が生産と併せて、加工部門やサービス・販売部門を一体的に推進する活動	中小企業者と農業者が連携し、それぞれの経営資源を有効に活用して行う活動
留意点	生産基盤の確立 加工の技術的課題の解決 市場調査による需要把握	原材料の供給先のみならず イニシアティブをとる 所得向上に繋げる

- ◎自らの経営計画にしっかりとした位置づけが必須
- ◎マーケットイン（売れるものづくり）の発想で！
- ◎女性の活躍が欠かせない
- ものがたり性があれば最高
- 消費者に感動を与える！

米の生産・販売を考える3つの視点

再生産価格での販売

農家が再生産できる価格で消費者に買ってもらえる仕組みを作らないと、農村は成り立たなくなる

地元密着の販売

地元の米を購入することにより、地元の農家支援、農地保全に貢献できる

消費トレンドの変化への対応

家庭向け精米から、外食や中食、冷凍米飯などへ移り変わってきている

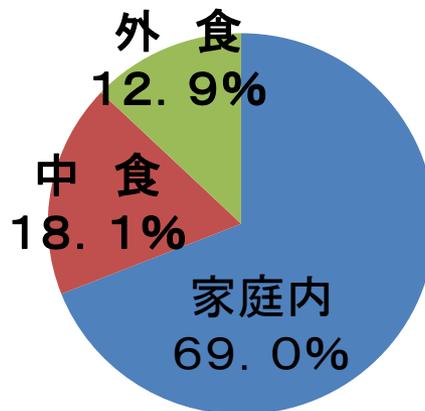
県内需要量: 410,046トン
県内人口: 751万人弱
1人当たり年間消費量: 54.6kg
生産数量目標(H28自主的取組参考値)
132,094トン

県内充足率

32.2%



主食用米の消費内訳



31%を占める業務用米についても1/4以上のシェアの確保を目指して、**売先を意識した作付品種の選定や販売をしていく必要がある**

約2割の保有米(農家消費)を差し引くと、

県内需要量: 383,627トン
可能供給量(生産数量目標一保有米)
105,675トン
県内充足率: 27.5%(4日に1日程度)

野菜産地の生産力の維持向上を！

国内産地の生産縮小
輸入物の不安定な出回り

供給過剰の状態になく、
需給バランスは改善

間違いなく、
価格は上がりやすい状態

将来を見据えて、産地の生産力を維持していくことができれば、現在以上の売上高を見込むことができる！！

将来の生産力を客観的に予測しよう
生産構造分析の実施を推奨

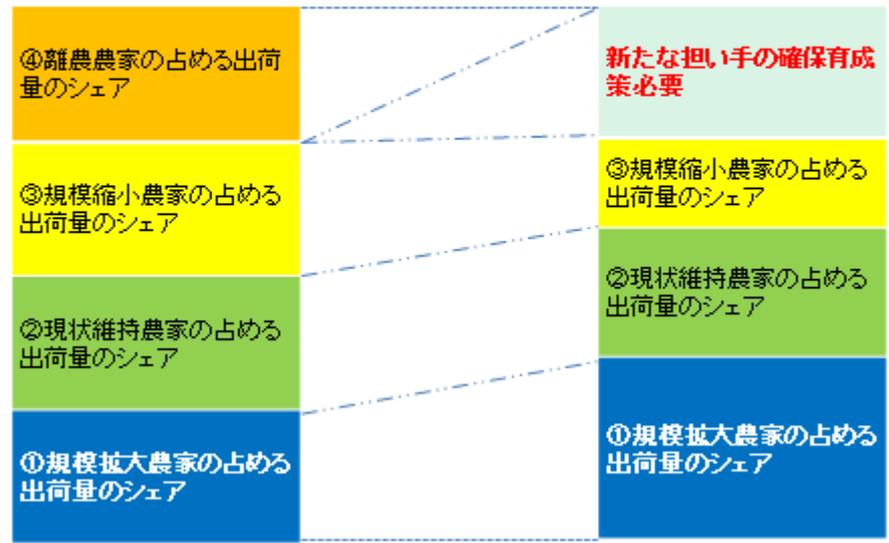
生産構造分析とは：

- ①各産地で、農家ごとの経営規模、経営主の年齢、後継者の有無、現在の出荷量を把握
- ②産地関係者が、各農家の5年後と10年後を客観的に判断し、規模拡大農家、現状維持農家、規模縮小農家、離農農家の4区分に分け、農家ごとの5年後と10年後の出荷量を客観的に予測
- ③その出荷量を積み上げて、産地の将来の生産力を予測

産地における生産構造分析のイメージ

現在の生産構造

5年後及び10年後の生産構造



高齢化、単身世帯の増加を背景として、加工・業務用需要が高まるなど消費トレンドが変化

国産を求め
る実需者

確実なマーケットの存在

4 魅力ある地域づくり

- ・農山村地域の「悩み」をまとめて解決
- ・「あいち型集落営農方式」を展開しよう！

根幹は「魅力ある地域づくり」



担い手不在、担い手不足地域



集落全員で農地を守る



地域に若者がいなければ



Uターン、Iターンにより
若者を地域に呼び込む



そのために必
要なことは？

担い手の確保育成

農地利用の最適化

担い手の確保育成、農
地利用の最適化は、「魅
力ある地域づくり」の上
に成り立つ

魅力ある地域づくり

農山村地域の『悩み』をまとめて解決する集落営農

農山村地域の悩み

過疎化・高齢化
・後継者不足

機械化貧乏

獣害問題

耕作放棄地の増加

Uターン・ターンなど
若い世代の移住

機械の共同利用

適正生息数化
+
守るべき農地を
しっかりと活用

イノシシやシカと
棲み分け

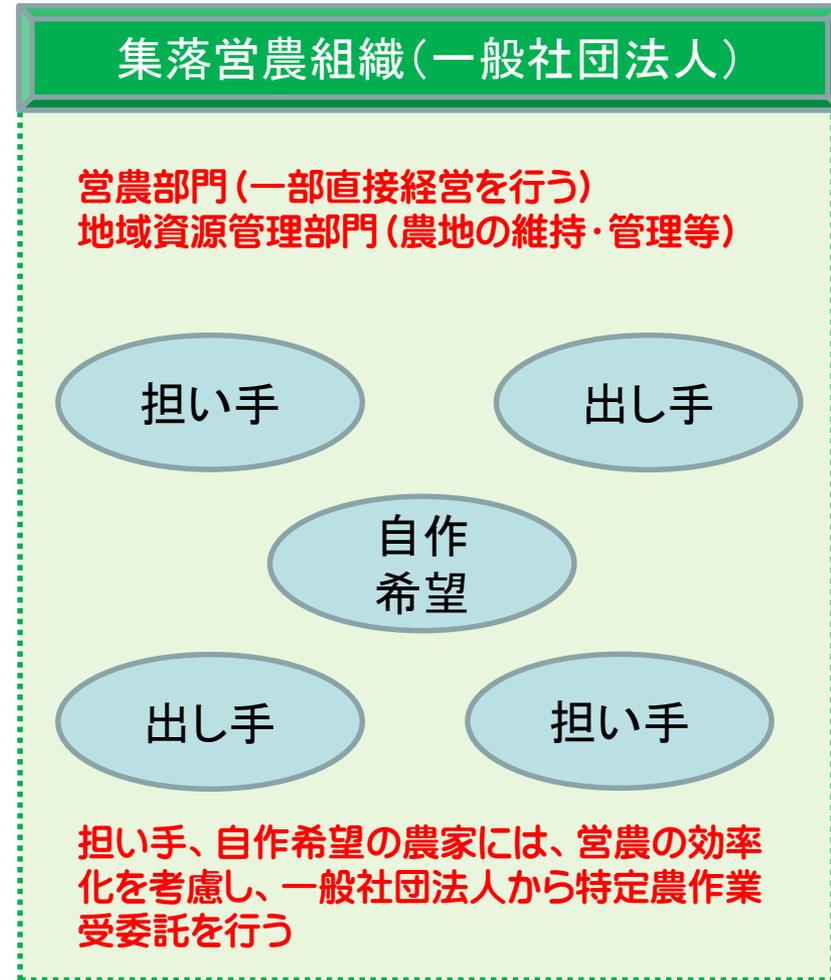
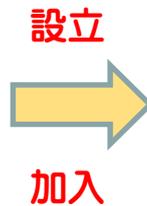
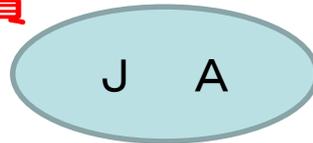
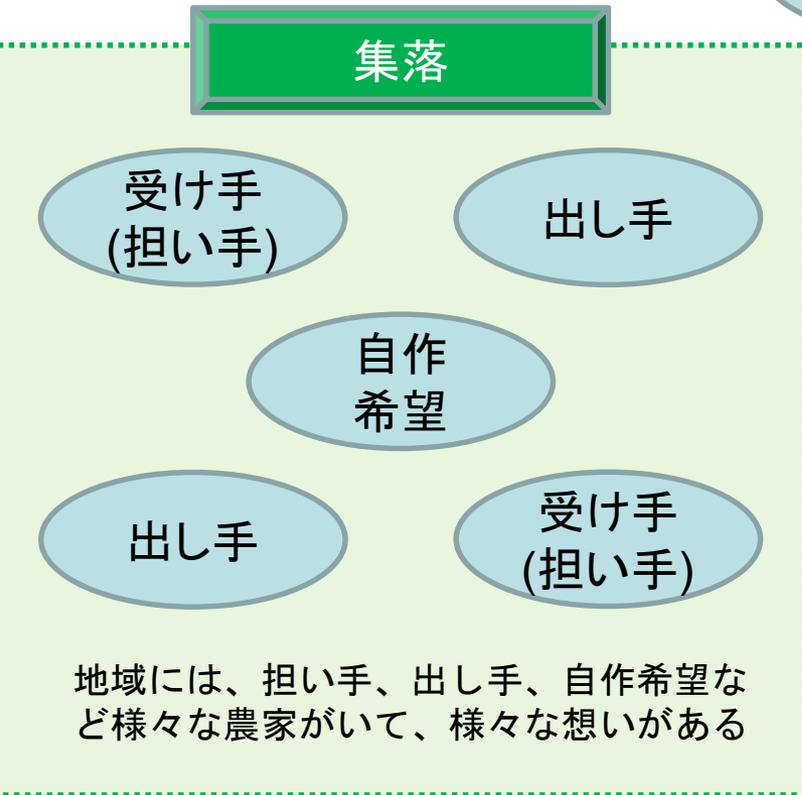
牛などの放牧

まとめて解決

集落営農

「地域まるっと中間管理方式」を展開しよう！

地域まるっと中間管理方式：一般社団法人として設立し、営農部門と地域資源管理部門を担う方式



担い手も自作希望の農家もみんな地域まるっと機構に農地を貸し出してください！



農地中間管理機構



5 農業が持つ社会的価値

- ・農業には社会的価値がある
- ・誇らしいから人が来る(新規参入)

農業が持つ「社会的価値」

◎農業には社会的価値がある

国家が抱えている問題を解決する「錦の御旗」
農業により再生する（国発言）
大義は我にあり

◎誇らしいから人が来る（新規参入）

◎2025年問題で注目される農業

団塊の世代が75歳を超える2025年
元気で、安心して住み続けられる地域づくり
生きがい就労とコミュニティの場
農業側の受け皿づくりが重要

理事長からのメッセージ、是非ご一読を！

公益財団法人 愛知県農業振興基金

愛知県農地中間管理機構

農地中間管理機構へのお問い合わせ
☎ 052-951-3288

「愛知県農地中間管理機構」と検索してください！

TOP 農地中間管理事業とは 事業の流れ 農地を貸したい方へ 農地を借りたい方へ 活用のメリット

担い手の規模拡大・
面的集積を支援します。



公益財団法人 愛知県農業振興基金
愛知県農地中間管理機構

農地中間管理機構へのお問い合わせ
☎ 052-951-3288

TOP 農地中間管理事業とは 事業の流れ 農地を貸したい方へ 農地を借りたい方へ 活用のメリット

理事長からのメッセージ

「目指すべき将来の姿」を展望する



理事長からのメッセージ

皆さまからのご意見をお待ちしております



クリックすると次頁へ

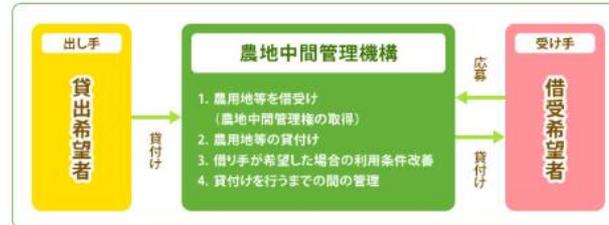
お知らせ

一覧

- 2016.10.07
[平成28年度第2回借受希望者の募集結果を公表します](#)
- 2016.10.06
新メッセージ発信！すぐ上にあります「理事長からのメッセージ」欄をクリックください！
- 2016.09.23
[農用地利用配分計画による賃借権の設定等を行いました](#)
- 2016.09.09
[「担い手との意見交換の状況」を公表します](#)

農地中間管理機構とは

農用地の利用の効率化及び高度化の促進を図るため、農用地等を貸したい農家（出し手）から農用地を預かり、農用地を集積・集約化し、担い手農家（受け手）へ農用地の貸し付けを進めるための組織です。



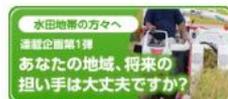
メッセージ一覧

- 2016年10月10日 [地産事業新メニュー紹介（第1回）New!](#)
- 2016年9月27日 [ともに築こう！地域の豊かな生活（第2回）](#)
- 2016年11月11日 [ともに築こう！地域の豊かな生活（第1回）](#)
- 2016年4月25日 [ともに築こう！地域の豊かな生活（第10回）](#)
- 2016年4月12日 [ともに築こう！地域の豊かな生活（第9回）](#)
- 2016年3月24日 [ともに築こう！地域の豊かな生活（第8回）](#)
- 2016年3月21日 [ともに築こう！地域の豊かな生活（第7回）](#)
- 2016年2月16日 [ともに築こう！地域の豊かな生活（第6回）](#)
- 2016年3月3日 [ともに築こう！地域の豊かな生活（第5回）](#)
- 2016年3月21日 [ともに築こう！地域の豊かな生活（第4回）](#)

各種資料

- 農地中間管理事業/リーフレット (PDF: 484KB)
- 農地中間管理事業/規程 (PDF: 421KB)
- 事業計画 (PDF: 209KB)
- 収支予算 (PDF: 113KB)
- 農用地等借受申込書 (doc: 59KB)
- 農用地等借受申込書記入例 (PDF: 192KB)
- 農用地貸出希望申込書 (doc: 19KB)
- 借受申請書下書 (doc: 43KB)

下は完結編のバナー



第4弾「ともに築こう！地域の豊かな生活」の連載は今後も続きます（現在は休止中）